

1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成 21年 11月 24日

【評価実施概要】

事業所番号	2872600248		
法人名	社会福祉法人しあわせ福祉会		
事業所名	加西の里痴呆性老人グループホームたんぼぼの家		
所在地	兵庫家加西市段下町848-14 (電話) 0790-48-2552		
評価機関名	特定非営利活動法人福祉市民ネット・川西		
所在地	兵庫県川西市中央町8-8-104		
訪問調査日	2009年9月30日	評価確定日	2009年11月24日

【情報提供票より】(21年7月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 12年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	6 人	常勤 5人, 非常勤 1人, 常勤換算 6人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋 造り		
	1階建ての ~ 1階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	7,200 円	その他の経費(月額)	円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 900 円		

(4) 利用者の概要(7月 10日現在)

利用者人数	9 名	男性 2 名	女性 7 名
要介護 1	4名	要介護 2	3名
要介護 3	2名	要介護 4	0名
要介護 5	0名	要支援 2	0名
年齢	平均 86 歳	最低 75 歳	最高 93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団 城谷医院、医療法人社団 竹村整形外科医院
---------	-----------------------------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは中国自動車道加西インターを下りた、近くに県立のフラワーセンターや歴史の名所等が点在した自然豊かな所にある。オープンキッチンが備わった広いリビングは、思い思いにくつろげるソファやたたみコーナーがあり、窓から見える中庭には利用者と職員と一緒に育てた野菜や、季節の花が目を楽しませてくれる。職員は施設であっても利用者が自由に、好きなことができる生活を目指している。行事料理や保存食など四季の変化に合わせ、職員は利用者と一緒に手作り生活を楽しまれている。地域との双方向の交流をさらに活発化しながら、利用者が地域の一人としての暮らしができるよう思いや希望を大切にしていこう姿勢をとっている。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)
	前回の課題であった職員が利用者と同じ食事をとることは、まだ実施にはいたっていない。利用者と一緒に食事の一連の作業をしていることから、今後実現されることを期待したい。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4)
	毎年自己評価は全職員で取り組み、主任・副主任でまとめている。項目内容の理解が深まり、日々の取組みを振り返る機会として定着させている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6)
	毎年度の法人決算及びホーム運営状況の報告を行うとともにホーム便りを基にホームの日常生活を伝える工夫をしている。地域代表者からは、その時々新しい情報が伝えられ、参加家族には地域の実情や情報を得る貴重な機会となっている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8)
	家族の来訪時には、積極的にコミュニケーションを図っている。年2回開催の家族交流会は、ほとんどの家族が参加している。今年度は利用者や職員の共同作業による手作りバイキングが盛況で、家族間の交流がより深まり、意見交換の場にもなった。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)
	地域住民の多くは地元の恒例行事としてホームでの催し物を楽しみにしている。利用者の知人や友人、地域ボランティアの来訪も多く、利用者自身も馴染みの店に買物や外食に行くのを楽しみにしている。地元高校生の福祉ボランティア訪問や幼稚園との交流も継続されている。

2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「地域で自分らしく暮らし続ける事を支える」をホーム独自の目標に掲げている。今年度の重点は、地域の行事への積極参加と外部交流で、利用者と地域の関係をさらに強化することとしている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員自らの目標として、運営推進会議での情報収集とふるさと訪問、なじみの店での買物や外食などへの積極支援を取り上げ、取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の定例行事や、ホーム主催の行事には、毎年多数の参加があり恒例となっている。友人、知人の来所も多く、地域ボランティアの交流も深まり、なじみの関係となっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は全職員で分担し、主任・副主任がまとめるやり方が定着した。項目を熟知することができ、日々取り組んできたことを再認識することができた。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>毎年度の決算事業及び事業計画の報告とともに、ホーム便り(たんぼぼ便り)を紹介している。地域代表からはその時々地域の情報提供があり、参加家族にとっても貴重な機会となっている。</p>		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>3ヶ月に1回開催されるグループホーム連絡会には、市担当者から随時情報提供がある。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>年4回発行している「たんぼぼ便り」とともに、利用者から家族あてに一言メッセージを添えている。利用者、家族共々喜ばれている。日々の些細な状況報告は、直ちに電話で伝えるようにしている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の交流会が年2回定例開催され、毎回ほとんどの家族が参加する。今回から利用者と共に手作りバイキングを企画、準備した。家族同士の親近感もより深まり、話し合いの場作りにつながった。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>法人内の異動は、引継ぎには馴染みの職員がフォローしながら利用者の不安を無くすよう努めている。法人として、年2回職員の個別面接により勤務状況や個別事情を把握し、働き易い環境整備に努めている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人外研修には、職員の希望を優先し出来るだけ受講してもらうようにしている。内部研修としては日常的に職員が疑問点などを書き出すことになっている。それをもとに事例検討や職員希望による勉強会を随時設けている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	3ヶ月に1回開催されるグループホーム連絡会に出席している。相互の現場での課題や取り組みについての積極的な情報交換の場となっている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前に利用者がホームに来訪し、馴染んでもらう。本人や家族の生活歴の把握に努め、環境変化に対応できるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の多くはこれまで主に農作業や家事等に携わってきたため、土に触れたり、調理や掃除などを分担してもらい、利用者学ぶ関係となっている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者から何気なく出た言葉やそのときの表情をキャッチし、思いを汲み取るよう努めている。利用者への問いかけは、選択しやすいよう例をあげて具体的に行っている。</p>		
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人のしたいこと、出来ていることが継続でき、さらに出来そうなことをプラスした介護計画になるよう、日々の観察から気づきを出し合い、利用者、家族と話し合い計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>週間チェック表をもとに日々の状態観察に注意し、変化が見受けられた際は医師や看護師に助言を仰ぐとともに、家族に相談して計画を見直している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>短期利用の指定を受けており、空室がある時、短期利用が可能である。併設の特養の嘱託医が24時間体制で対応、看護師も状態に応じ対応し、入院回避、早期退院の支援がなされている。併設のデイサービス利用者との交流等柔軟な支援がなされている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科、整形外科、眼科の往診あり。かかりつけ医は利用者、家族の希望を優先、通院は原則家族が同伴、事業所から医師に状態を連絡している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りの指針を基に状況に応じて利用者、家族と話し合っている。ホーム開設以来の利用者を今年初めて看取った。職員にとっても自分の家族を看取ったという思いだった。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報については、職員入職時誓約書を取っている。利用契約時に個人が特定される写真について公表の可否を確認している。トイレ誘導や失禁、食べこぼし等の始末は目立たないよう言葉がけに配慮している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事時間は決まっているが、職員の都合の優先はしないように心掛けている。利用者の希望に応じ、散歩や買物に職員が同行している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	味噌汁のだし等下ごしらえや、梅干や梅酒作りは利用者が行っている。献立は施設の栄養士が立てるが、利用者の好みに合わせ変更することもある。残念なのは職員が併設施設職員との兼ね合いで、一緒のものを食べず弁当持参することである。		利用者と一緒に行った食事を、職員も共に食すると利用者の食欲もすすむのではないだろうか。再検討を望みたい。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回、午前中が入浴時間。熱いお風呂が好きな人、ゆっくり入りたい人等配慮して入浴が楽しめるようにしている。足湯については、特に時間を決めず希望に応じている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	畑仕事、ウサギの世話、らっきょ漬け等、入居前していた仕事や得意なことを役割として、ホームでも行えるよう支援している。全員で外出や一泊温泉旅行もされ喜びのある日々を過ごせるよう配慮されている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的な買物、散歩だけでなく、月1回の外出や水族館、観光地へも出かけ、楽しみの外出を通して活力が湧く工夫がされている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠していない。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>併設施設と合同で年3～4回消防署と連携して避難訓練をしている。グループホーム独自では、夜間想定で3ヶ月に一度の訓練が定着している。新しい職員が入ればその人中心にマニュアルを基づいて訓練する等熱心に取り組んでいる。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>水分摂取は「たんぼぼ喫茶店」で10時に好みの飲み物を提供、キッチンにいつでもお茶が飲めるよう用意されている。食事はうす味で好みに応じて形態を変えるなどの配慮をして、摂取量を確保できるようにしている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>対面式キッチンで職員が調理し、中庭では洗濯物を干したり、ウサギが放されていて季節感や生活感のあるゆったりした共有スペースになっている。食事のテーブルを3つ置き、気の合う人同士で食事できるように工夫している。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室はゆったりとした広さで、収納スペースも十分である。居室の前には大きな木の表札が掛かっている。使い慣れた家具が持ち込まれ、心地よく過ごせる空間となっている。</p>		

 は、重点項目。